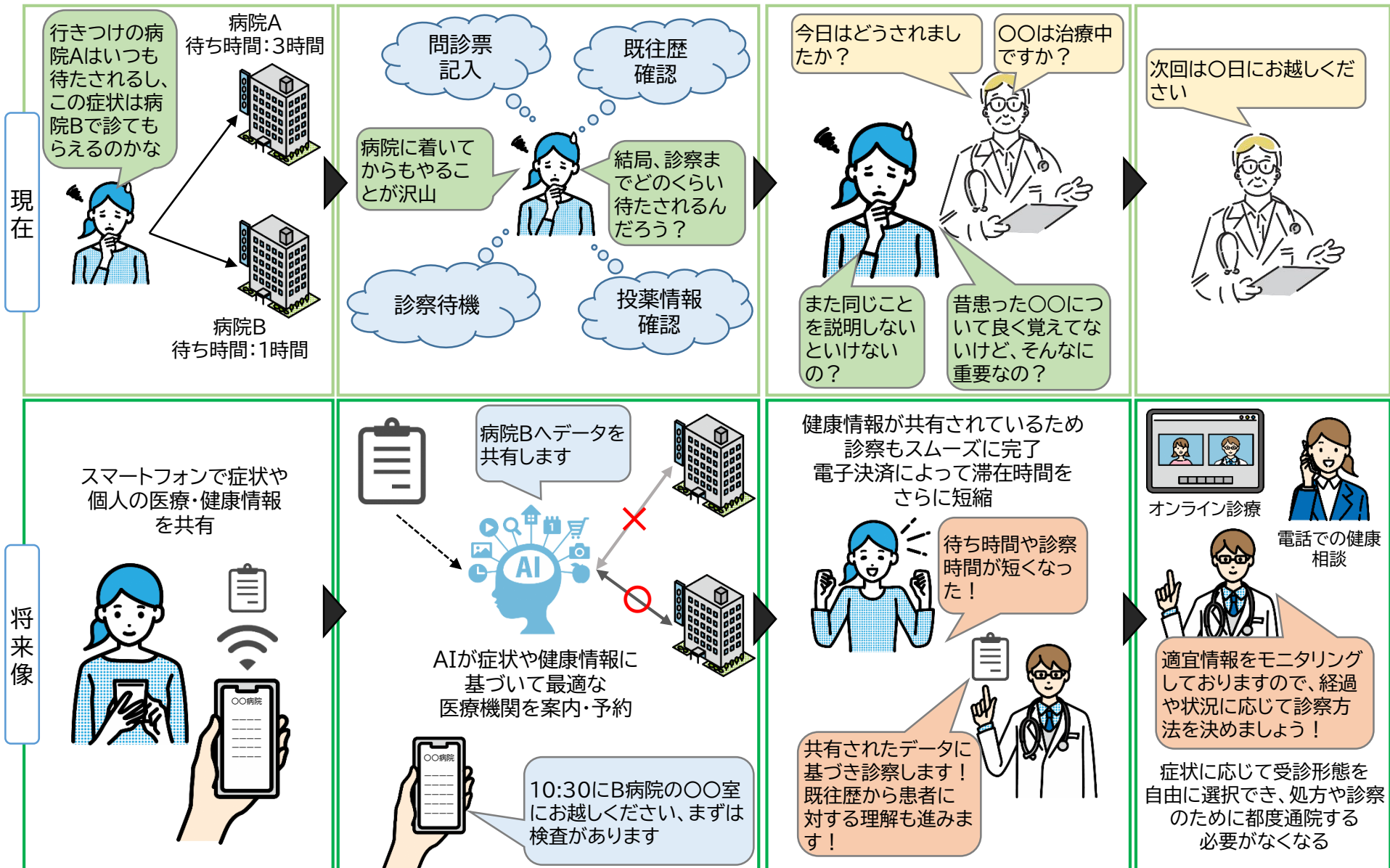


参考:スマートシティで実現されるイメージ(例)

健康増進


- 個人の健康情報や既往歴を共有することで、症状に応じた最適な医療機関への受診や診察・検査にかかる時間の短縮が可能となり、受診後は症状の経過やひとりひとりのライフスタイルに応じた受診形態を柔軟に選択できるようになります。



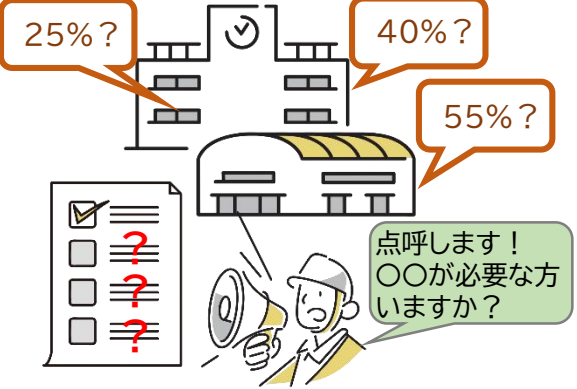
安全への備え

- 災害発生時等においては、要支援者と周辺の救助可能な人を自動でマッチングし指定避難所まで誘導支援することで、支援者共助による逃げ遅れゼロをデジタルの力で支えます。
- 避難所では顔認証による個人情報の確認、日頃の服用情報等をかかりつけ医や薬局に共有し、個々のライフステージや特性を理解した形で物資を要求(必要な処方箋の供給やアレルギー等を考慮した食事の提供)することで避難先でも安心して過ごすことができます。

現在



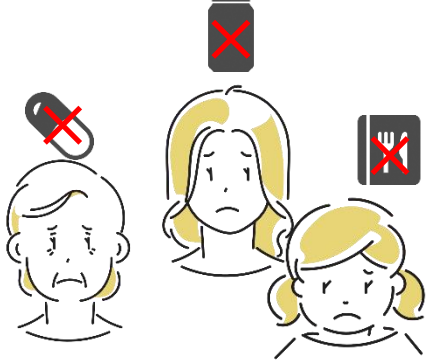
災害時における要支援者の孤立／逃げ遅れ



避難所における情報不足


25%? 40%? 55%?

点呼します! ○○が必要な方いますか?



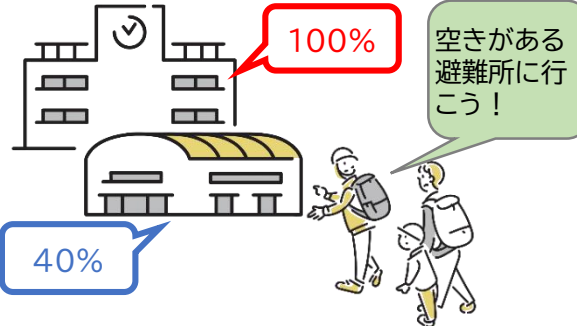
避難所における必要物資の不足

将来像



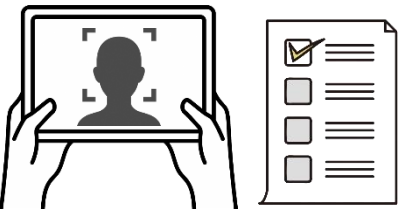
お互い助け合って避難しましょう!

支援者のマッチング／誘導支援

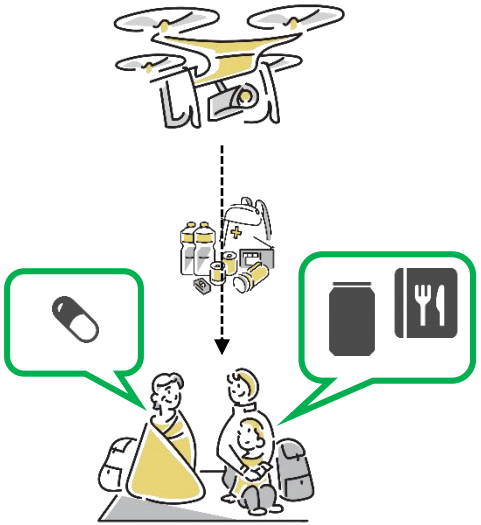


40%

空きがある避難所に行こう!



顔認証による個人情報確認(避難所)



個人データに基づく必要物資の供給

心豊かな生活

- デジタルの力を使って、市民が気軽に悩みを相談したり、市政に参画できる仕組みが構築されます。
- またAI等が市民の悩みや意見を汲み取り、行政やコミュニティに対する相談を提言します。
- 施策を実行に移す前に、様々な意見・要望を反映した仮想のまちで実証やイベントを行います。市民の生きた声が反映された本当に効果のある取組によって、実際にまちが変わっていくことで、市民はまちづくりを「自分ごと」として捉えることができ、まちに対する誇りや愛着がさらに深まります。

現在

日常生活の相談に乗ってくれる人や場所はあ
るのかな？



市に対して言いたいことがあるけど、
どうすれば伝わるのかな？

計画は進んでいるみたい
だけど、私たちに本当にメ
リットがあるのかな？



この地域では沿線開発
より、子育てのイベント
に注力の方がいいん
じゃないかな？



私たちの思いや要望をちゃんと聞
いてくれているのかな？



将来像

行政に提案してみ
てはいかがでしょ
うか？



様々な悩みや
意見を受け付
けます！

子育て相談
がしたい



交通が
不便



市政に対し
意見・提案
がある

夜道が
危険



仮想のまちやイベント
の体験！



協議・相談可能なコミュニティ！

みんなの声を
反映したまち
の実現！

